



目的

現在活用されていない深海魚の革を用いた、深海魚レザーの開発

- ・現在破棄されている、深海魚の皮を使って、新たな特産品を作りたいと考えています。戸田で、「DEEPSEAFISH LEATHER」としてブランドを確立させ、製品化出来るように、実験・開発、マーケティングを行っていきます。そうして出来た皮革は、製品にする以外にも、地域の子供達に魚を身近に感じてもらうためのツールとして利用していき、戸田地区の地域活性化を図っていきたいです。

現状

地域の特産品である深海魚グッズがない！

- ・沼津市の戸田は、過疎が進み、人口・観光客の減少が進んでいます。「深海魚の聖地」として、町おこしを行っていますが、イベントのみの集客となっており、また「深海魚」は沼津港魚市場でしか購入出来ず、深海魚のグッズもないため地域に消費が起きず地域活性化の効果があまり見込めないのが現状です。

活動

深海魚の皮を革製品へ向けての研究・開発

- ・未利用魚とされている、深海の鮫の革を、浦上製革所へ送付し鞣しを依頼しました。鮫の鱗を溶かす作業に技術を要するため、少量ずつ色々な鞣し方を研究しました。
- ・Studio y creationの協力の下、サンプルを製作しました。皮のサンプル・革製品の試作品共に「道の駅くるら戸田」に展示し、アンケートを実施しました。アンケートでは、深海魚レザーに興味があると回答した方が8割にのぼりました。



振り返り課題

深海魚の革を活かした製品作りに挑戦していきます

- ・鱗を取る作業が大変との声を頂いているため、鱗がついた製品もなにか出来ないか開発していきます。
- ・皮を鞣すのにコストがかかるため、コストが安くなるような方法はないか思案していきます。

